

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆首相、中小の賃上げへ「価格転嫁を阻害する商習慣一掃」

・政府は首相官邸で中小企業の価格転嫁や賃上げに関する会合を開いた。業界団体などに中小の賃上げと価格転嫁の推進を徹底するよう求める方針を示した。サプライチェーン(供給網)全体での適切な商取引を進め、中小企業の賃上げにつなげる。『賃上げしないけど雇用は守るからね』はやめよう』と訴えた。

◆花粉飛散、1月下旬から 西日本で特に多い予想

・民間気象会社のウェザーニューズは今年の花粉の飛散予想を発表。1月下旬に最も早い静岡県で、2月上旬には九州や中国・四国の一部、関東などでスギ花粉の飛散が始まる。飛散量は多くの地域で平年を上回り、西日本では昨夏が高温だったことなどから、過去10年で最多だった2023年に匹敵する。

◆中小賃上げへ、各閣僚が業界団体に要請 価格転嫁促す

・政府は中小企業の賃上げを実現するため、国土交通省や厚生労働省などの各閣僚が業界団体に対し、賃上げと価格転嫁の推進を直接要請する。各省庁が一体となり、賃金が上がりやすい商慣習を構築できるようにする。政府は中小企業の価格転嫁や賃上げに関する会合を開き、方針を決める。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニック、実用空間で次亜塩素酸の除菌効果確認

・パナソニックは実用空間での次亜塩素酸の除菌効果を確認したと発表した。群馬パース大学(群馬県高崎市)と検証した。これまで次亜塩素酸の除菌効果は実験空間内では確認されていたが、実用空間では確認されていなかった。今後も共同研究を続け、感染リスク低減につながる機器開発を目指す。

◆東京の分譲マンション賃料3.2%高 2024年、7年連続上昇

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した2024年の分譲マンション賃料は、東京都が1平方メートルあたり4163円で前年比3.2%高となった。7年連続の上昇となった。賃貸需要は堅調に推移しているものの、ここまでの賃料上昇で借り手が手を出しにくい水準に達しており、伸び率は23年(7.5%)より縮小した。

◆下請けを「中小受託」に名称変更へ 公取委・中企庁

・公正取引委員会と中小企業庁は「下請け」という法律上の名称を見直す。下請け事業者を「中小受託事業者」、親事業者を「委託事業者」に改める方針。下請けという用語が発注企業と下請け企業の間で上下関係をイメージさせるとの指摘があり、政府内で名称の変更を検討していた。下請法改正案に盛り込む方向。

《 注目商品 》

■日立、「冷蔵庫カメラ」が進化した新モデル「まんなか冷凍HXCCタイプ」

・冷蔵庫の新モデルとして、「まんなか冷凍HXCCタイプ」を発売。冷蔵庫に加えて、冷凍室下段、野菜室を撮影できる「冷蔵庫カメラ」を装備。撮影した画像は、日立冷蔵庫コンシェルジュアプリで確認可能。買い忘れや食材の二重購入、買いすぎなどを抑えられる。



■三和シャッターのオーニング窓、スマホで操作・自動制御可能

・リンクジャパンのスマートホームアプリ「HomeLink」から、三和シャッター工業の「オーニング窓」の管理・操作ができるように。スマートフォンやスマートスピーカーを使って窓の開け閉め操作、気象情報とリンクした自動開閉、タイマー設定などが可能に。



■窓辺に布団干しやシェードが取り付けられるアルミフレーム

・森田アルミ工業は、窓の外壁に設置したフレームに布団干しなどの機能性を持たせた「マルチフレームSCUA(スクア)」を発売。縦横の寸法をすべてサイズオーダーで製作するため、窓と一体感のある立体的な印象になり、フレームの影も建物のアクセントに。

